

福祉イベントを開催しました

第18回みんなと一緒に“福祉とボランティア活動展”

平成18年10月14日（土）・15日（日）の両日、一宮スポーツ文化センターにおいて、福祉関係者、施設、団体とボランティアが参加し、本会主催による「福祉とボランティア活動展」を盛大に開催し、2日間で約6,500人の入場者がありました。

この催しは、市民に福祉とボランティア活動に対する理解と啓発並びに参加の呼びかけを目的に開いています。内容はそれぞれの活動状況、活動内容を写真・ポスター・パネル等により展示、バザー・体験コーナーでは大勢の方でにぎわい、模擬店も毎年好評で全品が売り切れとなる状況でした。

活動発表会も今回は、1階の特設舞台に移して実施し、皆さん熱心に聞き入っていました。

最後に「ふれあい餅つき大会」をおこない、来場者に振る舞いました。

皆様方のご協力のお陰で、無事成功に終えることが出来ましたことに感謝いたします。



元気でお過ごしですか？

ひとり暮らし高齢者宅への友愛訪問を実施

社会福祉協議会では、地域の民生児童委員さんのご協力により、ひとり暮らしの高齢者世帯への友愛訪問を実施しました。

この事業は、年末などに担当地区の民生委員さんに高齢者宅を訪問していただき、安否確認をすると同時に日常生活での悩みごとなどをお尋ねして、ひとり暮らしの方が地域で孤独にならないように、安心して暮らしていただきたいという願いで実施しています。



対象者には慰問品が手渡され、「これからも元気でお過ごしください。」とやさしい声を掛けられていました。

家族介護者 リフレッシュ事業

リフレッシュ できましたよ!!!

日頃家庭で介護をしている方に心身共にリフレッシュしていただくこと、家族介護者リフレッシュ事業を、尾西支部では2回コースで、木曾川支部では5回コースで開催しました。

ヘルパーや保健師から話を聞いたり、健康体操やカラーセラピー、しめ縄作りなどをし、ボランティアグループによるフラダンスを見て楽しんでもらいました。また日帰りバスツアーに出掛けて、日頃の介護から少しの間はなれ、悩み事を話し合ったり情報交換をしながら楽しい時間を過ごしリフレッシュすることが出来ました。



家族介護者
リフレッシュ事業

色々な福祉体験を生かしてね!



必要としているのかを知るとともに、「ともに生きる」気持ちを育む機会となっています。児童・生徒の皆さんは、楽しんでそれぞれの科目に取り組んでいました。

社会福祉協議会では、市内の社会福祉推進校において、毎年「福祉実践教室」を開催しています。

この実践教室では、児童・生徒の皆さんが車椅子、手話、点字、要約筆記、視覚障害者ガイドヘルプ、高齢者擬似体験などを学ぶことにより、体が不自由とはどういうことか、また体が不自由な方たちが何を

